

# 静岡市立賤機南小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月15日（火）

「大昔のくらしをさぐる。」をテーマに体験しました。

「社会科の歴史学習の入り口で、子どもたちに歴史に興味を持ってもらうために体験を取り入れる。」ということで出前授業を要請していただきました。今回は、職業講話・土器の分類体験・火起こし体験の3つの体験を行いました。どの体験にも夢中になって取り組む姿が見られ、今後の歴史の授業が楽しいものになることを予感しました。日常生活の中で、当たり前のように使っている器にも歴史があることを知ったり、火起こしをしないと火が使えないことを体験できて、貴重な時間を過ごすことができました。



## ◎職業講話(発掘の話)

埋蔵文化財センターが行なった発掘調査の画像を見ながら興味深く聞くことができました。発掘現場の様子や大変さ、やりがいなどを聞き、職業選択の一つにもなったと思います。



## ◎火起こし体験

梅雨の晴れ間の日差しが暑い日でしたので、日

陰を探して火起こし体験をしました。デモンストレーションで火がつくと感動していました。次に、自分たちが弾み車を回す段階になると、なかなかリズムよく回すことができず、火種ができるころまでいかず苦労していました。それでも、しばらく息を切らしながら頑張っていると火種のできる班が増え、やっとできた火種を火口にやさしくのせ、息を吹きかけることしばらくすると、火が起きました。火起こしの大変さから、昔のトク々の苦労を感じ取っていました。



## ◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについての話を聞いた後、静岡県内で出土した完成土器を手に取り、重さや質感、模様などをよく観察し、土器片と比べながら分類していました。土器の作り方や焼き方の違いなどをよく観察することで、土器の分類の大変さを実感し、土器の違いから人類の進歩を感じ取っていました。

